

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 毎月最終例会 18:00
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 和田正敏
 幹事 田部井良和
 会報・雑誌委員長 宮尾紘司

No. 6

ロータリー2000：活動は一堅実、信望、持続

ROTARY 2000：ACT WITH CONSISTENCY, CREDIBILITY, CONTINUITY

1999～2000年度 RI会長 カルロ・ラビッツァ

きょうの例会

第817回 平成11年 8月31日 (火)

友愛の日
創立17周年例会

先週の記録

第816回 平成11年 8月24日 (火)

曇

◆“我等の生業”

◆出席報告

会員	71(69)名	出席	55名
出席率	79.71%		
前々回	8月3日 (修正出席率)		98.53%

ニコボックス

秋山 茂則君 8月23日は処暑。二四節気の一つ。暑さが止み、涼しさが近いという日です。昔から節分とか春分とか八十八夜など季節を表す言葉がありました。今年は温故知新ということで古い言葉を拾ってみました。何か新しいものが出て来てますか

浅井 誠寿君 秋の草が花盛りです。“あはれさやてふてふ寂びて 草は花”

菊池 昭元君 卓話をさせていただきます。よろしく。

小坂井盛雄君 良い夏休みで、北海道へ行って来ました。

宮尾 紘司君 来日6日目、ケーティは元気です。我家は英語と日本語が入り交っています。

笹野 義春君 早速させていただきます。

和田 正敏君 佐久間さん、いつも花のボランティアありがとうございます。

山本 眞輔君 和田会長、御世話になりました。

吉田 玄君 中々、マスコミに真実は伝わりません。

萩原喜代子さん、林 哲央君、堀江 宏輝君、伊原正躬君、池田 隆君、池森 由幸君、石黒 正則君、伊藤 健文君、伊豫田博明君、加藤 重雄君、加藤大豊君、河村 政孝君、小林 明君、小山 雅弘君、久保田 皓君、黒須アイ子さん、丸山 昌宏君、三輪康君、三好 親君、水野 民也君、水野 賀績君、水

谷 祥督君、本山 孝君、中井 常雄君、成田 良治君、西川 豊長君、大口 弘和君、尾関 武弘君、鷺谷 龍男君、佐久間良治君、佐野 寛君、鈴木 正男君、田部井良和君、竹内 眞三君、舎人 経昭君、吉田 節美君 皆様に、残暑お見舞い申し上げます。

(8/17分)

秋山 茂則君 終戦から54年。飛騨川バス事故から31年。月日のたつのは早いもので私は71歳になりました。牧野登志子さん よろしくお願ひ致します。

水野 民也君 孫が青少年交換学生の試験に合格しました。

成田 良治君 終戦後54年、食べるものもなかった時を思い出し、今の幸せを感じています。

大谷 和雄君 全国高等学校総合体育大会で桜花学園高校バスケットボール部が優勝いたしました。

和田 正敏君 新会員の牧野登志子さんを迎えて。よろしくお願ひします。

山田 壽勝君、吉田 節美君 終戦54年、老骨の私たちには万感こもごも、感慨無量の日々が続きました。心から平和を祈ります。

足立 一成君、青山 敏郎君、二村 聡君、萩原喜代子さん、林 哲央君、伊原 正躬君、池田 隆君、池森 由幸君、石黒 正則君、伊豫田博明君、神崎 住恵さん、加藤 重雄君、菊池 昭元君、小林 明君、小山 雅弘君、久保田 皓君、宮尾 紘司君、水野 賀績君、中山 信夫君、西野 英樹君、大口 弘和君、鷺谷 龍男君、佐久間良治君、佐野 寛君、鈴木 正男君、鈴木 理之君、谷口 優君、舎人 経昭君、山本 英次君、山本 眞輔君、吉田 玄君

桜花学園バスケットボール全国優勝おめでとうございます。

松島 孝彰君 誕生日祝い。

◆バナー紹介

松島 孝彰君

NORTHERN GUAM, U.S.A.

田部井幹事報告

1. 次回最終例会は夜間で、創立17周年記念例会となります。

和田会長挨拶

医療関係が出来る災害などの対策については、神戸大震災から大きく変化しつつあります。今回は人の急病に対する取り組み方と問題点について話します。

名古屋市は救急病院輪番体制を施行しています。一次、二次と三次救急に分類され消防局救急指令センターと医師会の救急情報センターが必死に患者様のお役にたとうと努力し働いています。

救急車が到着した時はまだ呼吸をしていた患者様も病院に到着するまでに呼吸停止してしまうことがあります。日本の救急体制において救命士は間接的な事のみ行えます。例えば、手を使った胸壁からの心臓マッサージやマスクを使用した人工呼吸等です。救急車内には心電図モニター、カウンターショック、人工呼吸器、点滴セット等がそろっていて心電図モニターをつけて心臓病の患者様で重症な不整脈を認めた時、医師であれば即座にカウンターショックを行い不整脈の治療をしますが、救急隊員はモニターの波形を指定された病院へ電話回線を利用して転送し医師の指示に従い電気ショックを行います。救急車が何所にいるかで電話回線がつかない場合もあります。時間がかかれば不整脈で死亡してしまいます。残念ながら彼らの判断では治療は決してできません。急性呼吸不全の患者様や呼吸停止状態の方に、もし彼らが直接気管確保(特に気管内挿管チューブ使用)ができればその救命率はかなり高くなると思いますが、救命救急士がチューブを挿入できず、患者様が死んだ時その行為に対しての責任を誰がとるのか問題となります。うまく挿管でき呼吸をしはじめてもそれまでにかかった時間の問題で意識が戻らない時、本人の意思がどうであったか？その姿を見た家族はどう考えるか？その行為が正しかったか、の責任は誰がとるのか？

救急医療の現場には余りに多くの問題があります。

◆卓話

“人生72年を顧みる”

会員 菊池 昭元君



ロータリーに關した話に少し触れて見ます。それはロータリーの公式徽章です。手続要覧の名称と徽章の章に「6本の輻24の輪輻一つの楔穴のある歯車」である各部の大きさは直径を61とし巾、厚、深等比例で定め、色は全体が金色、輪縁の四ヶの窪みはロイヤルブルー、文字は金色である、尚襟章は小さい為楔穴はなくてよいとあります。この小さな歯車の襟章はよく日立ち解り易くロータリーアン同志、厚い信頼で結ばれていま

す。さて、話は変わりますが、ここからは会長テーマの温故知新にこじ付けて、当クラブの会員年令は昭和10年迄に生れた人34%、11年以降が66%で年令から見る限り終戦を知らない人が相当数見えますので、私の古き体験話でその責を免じて頂きます。

去る8月15日は54回目の終戦記念日、37回目政府主催全国戦没者追悼式が行われ、初めて君が代が斉唱されました。①「日本海軍の新兵教育」 私は56年前、昭和18年に18才で横須賀海兵団に志願兵として入団、厳しいスパルタ教育を受けました。1分隊約200名の集団で生活各種教練が行われた。海では水泳にカッターの練習、手は血豆、尻は腰掛ですれて皮がむけ、傷だらけ困るのはWC等。陸上では広い練兵場で銃剣術や38式歩兵銃拳銃などの教練、午前の教練の終りには全員朝礼台前に整列教官の指導注意を受け、やれ昼食かと思しや教官は「貴様らの教練は気合いが入っていない」「食事する資格ない」と、広い練兵場を4名の班長が監視の元走る事1時間、そのまま午後の教練開始、空腹と疲労に耐えてやるしかない。夜は就寝前1時間位釣床訓練、釣るに13秒、上げるに15秒が目標、このタイム達成の為繰返し練習、最終は「止め貴様等はなっていない」と遅かった数名を中央に呼び出し複数の班長から精神棒で力一杯3~30本尻を叩かれ、冷や汗に顔は青ざめ意識を失い「バツリ」倒れる。用意してあった水を掛ける。とても人間の行為ではなく可愛そうで目をそらす。厳罰を受けない為には平素素直で真面目、仲間にも負けず、何でも終りがある、止めが掛る迄辛抱する事を覚える、斯くして数々の苦痛を乗り越え不屈の気力体力が育ち6ヶ月、体重は2/3に減り一変した姿、終了試験に合格実戦部隊に配属となる「鉄は熱い内に打て」と言われますが、現在の自由社会に於ける若者にも何か欲しいと思えてなりません。②「終戦直後の建設業」昭和24~25年頃、焼野原の復興は学校、住宅、米軍施設の建設でした。日本の宅地造成はリヤカー、トロッコ、薪木炭で走る被れ切ったトラック、米軍は大型ブルドーザー、ダンプカー、重量物移動にトラッククレーン、何もかも初めて見る物ばかり、その機動力にビックリ仰天、之では戦争に負ける筈だと誰もがボヤイタ、次は米軍将校宿舎2"×4"の建設、初めて見る英字の図面と書類、英語の勉強などした事のない者の初挑戦、会社の通訳の助けを得て、すべてに日本字仮名をふり、建築専門用語で判らない部分は想像で何とか見積り契約出来た。さて英語の知らない現場主任と、米軍の日本語が話せない監督で工事が始まる。まず二人の打合せは、筆談でOK、NO、YESだけ、でも「安ずるより産むが安し」国や人種は異なっても誠実と努力で心は通じ工事も予定通り立派に完成出来た。

斯くして実社会50年数々の人と物の出会い、鍛えられた精神力、恵まれた健康で今も第一戦で健在です。末永く友人として御指導下さい。

◆次回例会(9月7日)

ガバナー補佐訪問